



NEW  
THINKING.  
NEW  
POSSIBILITIES.

ヒュンダイモータージャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目 11-30 赤坂一丁目センタービル 12F

TEL:03-6234-3571 FAX:03-6234-3579

<http://www.hyundai-motor.co.jp>

平成22年12月1日

## ヒュンダイは、日本への輸入バスとして世界で初めて ポスト新長期規制をクリアし、型式認定を取得した 大型バス『ユニバース(UNIVERSE)』を販売開始。

- 卓越した性能と高い実用性を兼ね備え、登場以来 122 台を販売
- 輸入大型バスとして初めてポスト新長期排出ガス規制に適合、PM は規制値の 1/4
- バス事業者からの意見を反映したワイドバリエーションと装備
- 独自開発のエンジンで、環境性能だけでなく低燃費・優れた耐久性を実現

ヒュンダイモータージャパン株式会社(本社・東京都千代田区 社長:金 東燮(キム ドンソップ・新任)は、ポスト新長期排出ガス規制をクリアした、新型大型バス「ユニバース」を 12 月 1 日より全国のヒュンダイ商用車正規販売店にて発売を開始します。

2009 年 2 月に発売以来、多くのバス事業者の皆様にご導入いただいた「ユニバース」。新たに世界一厳しいといわれる日本の排出ガス規制「平成 21 年排出ガス規制<通称:ポスト新長期排出ガス規制>」を、輸入バスとしてはじめてクリアし、型式認証を取得いたしました。

バス事業者の皆様のご要望にお応えし、「高次元バランス、という性能を問う。」をキャッチフレーズとして、近年増大する高速バス・観光バス需要において、公共交通機関を担うバス事業者の皆様の使命に応えられる大型バスを目指します。

今回発表した「ユニバース」は、ヒュンダイ独自のエンジン開発技術に加え、発売以来 1 年半の間に 122 台をバス事業者の皆様へ納入し、実際にお客様のご評価、ご意見を反映してきめ細かなブラッシュアップを实践。そのうえで、新開発のポスト新長期規制適合エンジンを搭載し発売するものです。



ヒュンダイモータージャパン株式会社

ユニバース販売チーム・広報室

TEL 03-6234-3571 FAX 03-6234-3579

日本において、観光バスや高速バスとして利用できる単なる右ハンドル化ではなく、排出ガス規制をはじめとした日本での法規適合に加え、日本のバスユーザーの方々から得られた貴重なご意見で、優れた足回りのセッティング、内装およびサービス設備を充実させ、すでに多くのバス事業者からご評価をいただいております。

## 1. ヒュンダイ新型ユニバースの特長

### 1) 環境性能の向上

新たに新開発した「ポスト新長期排出ガス規制対応・パワーテックエンジン」は、世界で最も厳しいとされる排出ガス規制「ポスト新長期排出ガス規制」だけでなく「ユーロ 6」以上の排出ガス規制に対応することができる低公害エンジンです。

最高出力 312kW(425PS)/1,800rpm、最大トルク 1,893N・m(193kgf・m)/1,200rpm を実現。低回転で高トルクを発揮し、登坂能力と加速性能、発進性能などで優れた性能を維持し、一方で、優れた燃費により、ランニングコストや地球温暖化の原因とされているCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)の削減も重視して開発いたしました。

ポスト新長期排出ガス規制をクリアする排出ガス処理システムは、

1. エンジン本体で、高度で精密な電子制御で最適燃焼させ、NO<sub>x</sub>(窒素酸化物)、PM(浮遊粒子状物質)を同時に削減
2. DPF で、残留 PM を捕集、連続処理し、無害化
3. 高温燃焼で発生するNO<sub>x</sub>(窒素酸化物)を SCR 内に尿素水を噴射し、無害化

する三段階で排出ガスをクリーン化する方式です。

特に、PM については、現段階でポスト新長期排出ガス規制の PM 値(0.01g/kWh<上限値 0.013g/kWh>)を大幅に下回る 0.0023g/kWh を達成しました。この数値は、次期ポスト新長期排出ガス規制にも匹敵するクリーンさを誇ります。

### ■主な開発ポイント

- ①エンジン本体の精密・最適制御化(ECU 内で理想燃焼をシミュレートし、最適燃焼を制御)
- ②EGR システムと尿素 SCR の最適化による少ない尿素水で大きなNO<sub>x</sub> 削減効果
- ③DPF と SCR を組み合わせて小型化し、効率の良い排出ガス処理を実現

### 2) 車体・装備の改良

ボディまわりも洗練され、シンプルながらモダンなヨーロピアンスタイルの気品あふれる外観デザインと、広々とした室内空間、心地よいインテリアを実現するハイグレードなシート、乗客サービス用の冷温蔵庫、客室の大型液晶モニター、カーポット、音響系の強化を行い、観光・高速路線業務に相応しい仕様としております。

また、新たに、ご要望の多いデイスチャージ・ヘッドランプ(HID)を標準装備し、シート、ラゲッジドアハンドル、サイドミラー等の改良やシートパリエーションの拡大、ドアスイッチ位置の変更、サイドミラーの拡大等、きめ細かな改良を行なっております。

また、公共交通機関としてのバスの安全運行は、「ドライバーの運転環境」にあると考え、運転席スペースを広く取り、メーター・操作系に人間工学を配慮した設計を採り入れ、安全運行を支える構造としています。

### 3) サービスフォロー体制の強化

ユニバスの日本での発売以来、全国に 14 社の商用車ディーラーネットワークを構築し、故障時の応急サービスネットワーク、部品供給についても在庫部品数を大幅に増強し、引き続き販売面の充実を図ります。さらに補給部品やパーツ供給は、ヤナセオートパーツによる迅速な全国供給体制を利用し、万が一の場合には路上救援を担当する企業とも協力し、お客様の対応を充実化します。

私どもヒュンダイは、日本の公共交通機関として、そして移動する手段として、「人と人」、「街と街」をつなぐことのできるバスになることを願っています。

#### ☆エンジン

##### 12.3 リッター「パワーテック」エンジン

エンジン型式 : D6CC (直列 6 気筒 OHC 24バルブ)

最高出力 : 312kW(425PS)/1,800rpm. 最大トルク : 1,893N・m(193kgf・m)/1,200rpm.

#### ☆排出ガス後処理装置

セラミックフィルターDPF+SCR方式(尿素水添加型)

#### ☆トランスミッション

##### 6速マニュアルトランスミッション

■発売日: 2010年12月1日

■型式名: LDG-RD00<輸入車特別取扱制度(略称: PHP)で型式認証取得>

■年間販売目標台数: 200台

■車型数: 92車型

■東京地区メーカー希望小売価格:

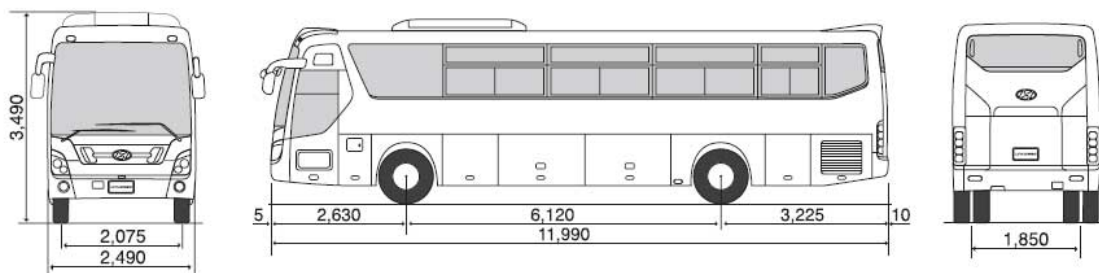
¥26,600,000~¥28,200,000 消費税抜き車両本体価格

■パワートレインの保証期間: 2年もしくは20万kmまで

(一般的な商用車では1年もしくは10万キロですが、当社では信頼の証しとして安心してご利用いただけるよう延長いたしました。)

#### ■三面図

## Dimension 三面図



## ご参考

### 新任代表取締役社長のご紹介

ヒュンダイモータージャパン株式会社

代表取締役社長 兼 ユニバース販売チーム長

金 東 燮 (キム ドンソップ) 47 才

■着任日 平成 22 年 11 月 15 日

#### ■経 歴

1989 年 仁川大学(インチョン大学)工学部 卒業

ヒュンダイモーターカンパニー(現代自動車株式会社)入社

1993 年 国内販売本部・バス営業部

1995 年 商用マーケティング室・商用車商品開発チーム

1997 年 商用事業本部・大型商用車販売促進チーム 課長

2003 年 仁川地域支店 バス販売部 次長

2005 年 仁川地域支店 支店長

2008 年 8 月 ヒュンダイモータージャパン株式会社 商用車準備室設立

2009 年 1 月 ヒュンダイモータージャパン株式会社 ユニバース販売チーム長(チーム長/部長)

2010 年 11 月 ヒュンダイモータージャパン株式会社 代表取締役就任

以上